

議会だより

# Inagawa

No. 189

2023.12.1

発行：兵庫県猪名川町議会



4年ぶりにわっしょい!!  
(笹尾地区秋まつり)



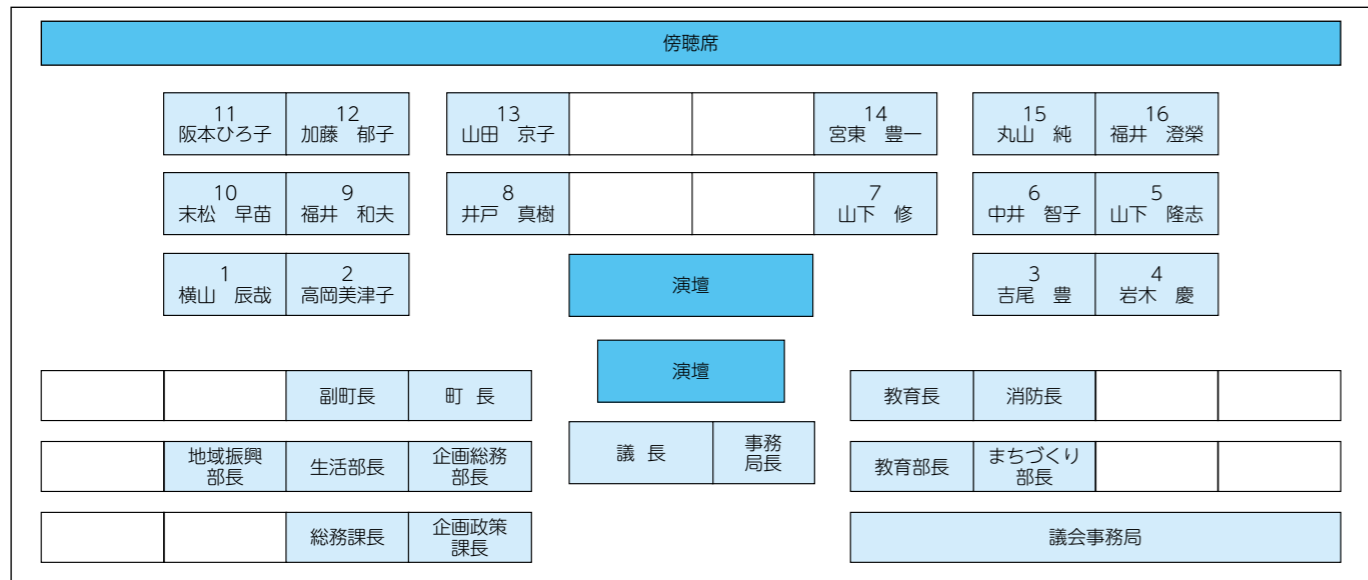




# 選挙後初の臨時会を開催



住民の代表である新たな16議員(議場)



議場配置図

# 資材・燃料等価格高騰対策として農業生産を支援



資材・燃料面で農業生産を支援

## 第416回 9月定例会

8月29日から9月8日まで11日間開会し、4年度決算認定2件、5年度補正予算2件、条例改正1件、人事案件2件、動産購入1件、その他4件を審議し、いずれも全会一致で原案のとおり可決した。一般質問は5人の議員が行った。

### 各会計の補正額

会計	補正額	補正後の総額
一般会計	4,626万8千円	115億2,610万5千円
企業会計	2,300万円	11億7,751万4千円
水道事業		

**補正予算**  
5年度一般会計補正予算(第3号)  
歳入歳出の総額にそれぞれ4626万8千円を追加し、歳入歳出の総額

### 人事案件

**自治功労者の推薦を承認**  
町議会議員として、長年本町の発展に尽くされた次の3名を自治功労者に承認。

南初男氏 (議員歴)  
昭和62年10月～令和5年9月までの36年間

下坊辰雄氏 (議員歴)  
昭和62年10月～令和5年9月までの36年間

## 第417回 10月臨時会

任期満了に伴う町議会議員の改選後初の議会を10月4日・5日に開会。議案審議に先立ち、議長・副議長および常任委員長・副委員長などを選出した。

また自治功労者の推薦、監査委員の選任、決算認定5件が提案され、決算認定を除く案件については、いずれも全会一致で承認・同意した。

なお、決算認定は各常任委員会へ審査を付託し、継続審査とした。

池上哲男氏 (議員歴)  
平成7年10月～令和5年9月までの28年間

**監査委員**  
議会選出の監査委員の選任に同意。

阪本ひろ子氏 (議員歴)  
平成7年10月～令和5年9月までの28年間

**決算認定**  
決算の認定は常任委員会で審査

4年度一般会計・特別会計決算の認定について各常任委員会へ付託し、決算の適正や行政効果について継続審査することとした。

をそれぞれ115億2610万5千円とする。主なものは農業生産振興対策事業費で、資材・燃料など価格高騰対策に係るもの。

**5年度水道事業会計補正予算(第1号)**  
柏梨田地区水道管漏水対策に係るもの。(P6参照)

**人事案件**  
任期満了に伴う人権擁護委員候補者の推薦に同意  
柳香代子氏

**任期満了に伴う教育委員会委員の選任に同意**  
北垣友紀子氏

**条例改正**  
火災予防条例の一部改正

**決算認定**  
4年度上水・下水道事業会計決算 (P6参照)

※いずれも午前10時から。  
※議事の都合により、また、感染症等の状況により、日程など変更することがあります。

**〈常任委員会の日程〉**  
12月11日(月) 総務建設  
12月12日(火) 生活文教

**〈本会議の日程〉**  
12月8日(金) 第1日/議案審議  
12月18日(月) 第2日/一般質問  
12月20日(水) 第3日/議案審議

**12月定例会**  
傍聴の手続きは簡単です。当日議会事務局で傍聴受付簿に住所・氏名を記入していただくだけで傍聴できます。(議場20人、委員会室10人まで)

みなさんも傍聴しませんか?



総務建設

# 水道料金の見直しを検討

8月30日、委員会を開会し、付託5議案を審査。主な質疑は次のとおり。

## 5年度一般会計補正予算（第3号）

◎ 資材燃料高騰対策では、販売農家が対象だが、出荷していない農家も影響を受けている。何か対策はないのか。

A 販売農家が対象だが、水稻作付者は、販売に限らず対象としている。

## 5年度水道事業会計補正予算（第1号）

◎ 老朽化が進行している塩化ビニール管はどれくらいあるか。今後入れ替えは多く発生するのか。

A 配水管の約70%が法定耐用年数40年を超えている。一度にすべてを入れ替えるのは不可能に近い。実質耐用年数約60年を適用している。



配水管入れ替え工事

漏水多発路線や基幹管路を中心に優先順位をつけて、更新していきたい。

## 4年度水道事業会計決算の認定

◎ 給水原価と供給単価が逆転している現象を解消するには、水道料金の見直しをしないとけないのか。

A 基本的には料金改定が必要。価格高騰の影響もあり、現在見直しを検討している。

（その他2議案も審査。いずれも全会一致で可決）

生活文教

# 丹波少年自然の家事務組合を解散

8月31日、委員会を開会し、付託5議案を審査。主な質疑は次のとおり。

## 丹波少年自然の家事務組合の解散に伴う財産処分に関する協議

◎ 財産処分に伴う町の負担は。施設の今後の活用について、町の費用負担はあるのか。施設存続の協議はされたのか。

A 町の負担金見込額は最大値で767万5千円。今後の活用は、丹波市の責任と費用のもと実施するため、次年度以降の町負担はない。施設存続については、協議を踏まえて丹波市で検討される。

## 5年度一般会計補正予算（第3号）

◎ 子育て支援センター運営費160万円は遊具更新だが、どのような遊具か。また子育て支援センターのサークルなどは、もっと充実させる必要があるのでは。



丹波少年自然の家

A すべり台を中心とした複合遊具で、設置して20年以上経過しているため更新するもの。グループ活動の支援や講座などを継続して実施しており、子育て支援に力を入れていきたい。

（その他3議案も審査。いずれも全会一致で可決）

いながわ活性化対策特別委員会

# いながわ活性化対策特別委員会を存続

8月10日、委員会を開会し、道の駅いながわ機能拡大プロジェクトにかかる今後の対応と施策などの説明及び報告を受けたが、調査は完了に至っていないと判断した。今後も継続調査すること、並びに改選後も当該特別委員会を存続することに決した。



# 町の考えを問う

## 第416回定例会 一般質問

※各議員のQRコードでは、一般質問の動画が視聴できません。

質問順	質問者氏名	質問事項
1	上林 辰巳	○身障者の現状と今後の施策は ○町の公園を問う
2	阪本ひろ子	○自転車の正しい利用啓発と事故防止対策を ○住民の生命と健康を守るワクチン接種の状況は
3	福井 澄榮	○三次救急病院の誘致を ○「常設型住民投票条例」の早期制定を ○「防犯カメラ」の録画、録音を視聴できるように、要綱の見直しを求める
4	末松 早苗	○公園でのにぎわいづくり、地域活性化策を問う ○救命講習実施の考えを問う ○道の駅移転予定地の利活用を問う
5	下坊 辰雄	○ふるさと館の今後の運営と周辺整備を問う ○北部地域の医療体制の確立をすべきでは

(詳細は7～9ページをご覧ください。)



かんばやし たつみ  
上林 辰巳 議員



### Q 身障者の現状と今後の施策は

### A 誰ひとり取り残さない町を実現する

**身障者の現状と今後の施策は。**  
**生活部長** 障がいのある人もない人も、ともに暮らしやすいまちを基本理念においた障がい者(児)福祉計画の下で、各ライフステージに応じた切れ目のない生活支援に対応するため、本年度新たな相談支援事業者による相談体制の充実を図ることとしている。①障がいに対する理解、権利擁護の推進②生活支援体制の充実③教育・療育の推進④自立と社会参加の促進を4つの基本理念に、これまで以上に適切かつきめ細やかな生活支援を行う。

**町のバリアフリー化の現状は。**  
**生活部長** 県福祉のまちづくり条例による町内施設のバリアフリー情報を公表している。条例に則し、改修が必要となる施設は順次、対応を講じている。  
**総合公園に人を呼び込む施策の展開を。**  
**まちづくり部長** 既存の池を親水公園として活用するためには水の入替え、衛生管理、修繕に多額の費用が必要となるため困難。キッチンカーの出店時に、既存施設を可能な限り活用した賑わいの創出を検討する。



障がい者(児)福祉計画(町ホームページより)



心肺蘇生法など動画を作成しては

オリジナル動画の作成は今後検討する



すえまつ 末松 早苗 議員



9月3日に行われた救急フェア

心肺蘇生法など本町独自の動画を作成しては。消防長 今後、消防庁作成の動画を町ホームページでリンクさせ、オリジナル動画も検討する。9月1日は「防災の日」また9日は「救急の日」で、救急業務や救急医療について一般の理解と認識を深め、救急医療関係者の士気を高める日とされている。応急処置の方法や心肺蘇生などを行う心構えや練習が常日頃から必要だと感じるが、救命講習実施について、何人集まれば実施するのかなど具体的な内容は。

消防長 講習の種類は救命講習・応急手当講習・救命入門コースの3種類。さらに救命講習には、主に成人対象の普通救命講習I、講習後に試験を実施する普通救命講習IIなどがある。受講に際しての人数制限はない。南田原地区の道の駅移転予定地の活用について、暫定的に農地を農地として活用する考えは。地域振興部長 「土地取得後、公共施設に転用する」という当初の目的に合致しておらず、その他目的外の使用については想定していない。

命を守る自転車ヘルメット購入助成を

県の動向や機運の高まりを考慮し検討



さかもと 阪本ひろ子 議員



命を守るヘルメットの着用を(県警本部ホームページより)

5年4月1日より自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となった。非着用と比べて致死率は半分になる。住民の命を守る施策として、ヘルメット購入助成の考えは。企画総務部長 補助金は普及の呼び水として効果的な側面もあるので、県や近隣市町の動向を注視し、機運の高まりを考慮しつつ、慎重に検討する。自転車利用者への安全対策として、ピクトグラムや表示やグリーンラインなどで自転車道の確保を。企画総務部長 自転車道を設置できるだけの幅員が少なく、設置はできず、優先道の設置も難しい。今後、県とも調整し検討を進めたい。子宮けいがんワクチンの

定期接種における積極的勧奨に向けた取り組みは。生活部長 2年度は、未接種で法定接種の期限までの期間が近い高校1年生192人に、3年度は全接種対象者826人に、個別通知を行った。带状疱疹は80歳までに3人に1人が発症。ワクチン接種助成制度の考えは。生活部長 法定接種として認められるまでは、接種後の健康被害への救済制度が適用されないのので、費用助成は考えていない。ひとくちメモ ピクトグラムとは 情報や案内などを単純化された絵や図形で表したものを。見た目でわかる案内用図記号。

今後の北部地域の医療体制は

検討委員会を設置し協議する



したばう 下坊 辰雄 議員



生活部長 現在の対応は暫定的なもので、医療法人晴風園としての方針決定ではない。町として本年6月に地域住民、県、医療法人晴風園の参画のもと北部地域の医療のあり方検討委員会を設置し、



杉生診療所

持続可能な北部医療体制の構築に向け協議した後、提言を受ける。財政状況の厳しい中、ふるさと館、静思館、多田銀銅山悠久の館を統一して運営してみたい。教育部長 町全体で財政改革を進める。併せて公共施設のあり方の検討に取り組み。提案の3つの社会教育施設はそれぞれの設置目的に応じ、歴史文化の情報発信と郷土愛の育成を図っているが、複数施設を持つことによる維持管理経費や施設機能の集約の可否など課題があると認識している。今後、効率的な行政運営を図る手法の一つとして参考にしたい。

住民投票条例の早期制定を

3月議会定例会に提案する



ふくい 福井 澄栄 議員



住民投票条例の早期制定をと、過去に住民と議員有志で議会へ提案したが、いずれも否決となった。町は遅れているが。企画総務部長 3月議会定例会に提案する。阪神北県民局管内(伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町)に三次救急病院があるか。いざといった時の高度な病院が身近にあることが、真に安心して住める市や町となる。三次救急病院の件は、過去に何回も一般質問してきたが、いっこうに動きが見えてこない。4市1町の市長、町長が志を持って、市民、町民

のために前向きに取り組んでほしい。生活部長 県で策定される地域医療計画に反映されるよう、阪神北地域の三次救急医療体制の整備について、近隣市と連携しながら積極的な意見を届けていく。防犯カメラの録画・録音を被害者が泣き寝入りしないように、視聴できる要綱の見直しを。企画総務部長 基本的に個人情報保護の重視を前提とすることから、庁舎のほか29施設の防犯カメラの要綱見直しは考えていない。

住民投票制度の手引
条例の制定から運用まで
突然の発議。一から準備では間に合いません。
関係部署間での知識共有と役割分担の明確化が大切です。
一般社団法人選挙制度実務研究会 編
国政情報センターより出典





## 議会広報研究会に参加

8月2日、県民会館で県町議会議長会主催の議会広報研究会に、議会広報特別委員会委員6人が参加した。自治体広報広聴研究所の金井茂樹氏による基調講演の後、いながわ議会だより第186号（5年2月1日発行）のクリニック指導を受けた。



## 努力賞を受賞

県町議会議長会広報紙コンクールにおいて、いながわ議会だより第186号（5年2月1日発行）が「努力賞」を受賞しました。これからも、わかりやすく、親しみやすい広報紙づくりに一層の努力をしたいと思いますので、ご愛読をよろしくお願いたします。



## 議員研究会に参加

11月6日、県民会館（神戸市）で県町議会議長会主催の「議員研究会」が開催され、15人の議員が参加した。議会広報紙コンクール表彰式の後、第1部は全国町村議会議長会の飯田厚氏から「議員の職務と公務災害について」のテーマで、第2部は一般社団法人地方公共団体政策支援機構の長内紳悟氏から「質疑・質問のあり方」のテーマで講演を受けた。

### 議会からのお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議会議員が写真撮影に伺うことがありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



発行 猪名川町議会  
編集 議会広報特別委員会

〒666-0292 兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑 11-1  
TEL072-766-8710 FAX072-766-8882

## 本議会を録画配信でご覧ください!!

## 議会運営委員会で多可町を視察

11月1日、議会運営委員会委員及び議長の下が「議員タブレット端末の導入と活用実態について」をテーマに、先進地である多可町を訪問し詳細説明を受けた後、質疑応答と意見交換を行った。



## 豊岡市議会が視察訪問

7月13日、豊岡市議会交通網問題対策等調査特別委員会が、本町のチョイソコいながわについて、行政視察のため来町。総務建設常任委員長の出迎えの後、都市政策課が詳細を説明し、質疑応答と意見交換を行った。





# 第19期 猪名川町議会議員



高岡美津子  
たかおかみつこ

山下修  
やましたおさむ

岩木慶  
いわきけい

福井和夫  
ふくいかずお

山田京子  
やまだきょうこ

山下隆志  
やましたたかし

阪本ひろ子  
さかもとひろこ

丸山純  
まるやまじゆん

吉尾豊  
よしおゆたか

末松早苗  
すえまつさなえ

福井澄栄  
ふくいすみえ

横山辰哉  
よこやまたつや

井戸真樹  
いどまき

宮東豊一  
みやひがしとよかず

中井智子  
なかいともこ

加藤郁子  
かとういくこ

本校は、旧町立阿古谷小学校の廃校跡活用事業として、平成二十八年に開校、高等専修学校としては日本で初の農業科を有する学校です。

農業を通じて「生きる力を育む」を目的とし、生徒は日々、畑で汗を流しています。農業教育の素晴らしさは、食に対する関心、知識を深めるだけでなく、何よりも生徒個々に応じた役割、居場所が必ずあることです。これは生徒個々の得意や興味を見出すことが出来なかった生徒には、ピッタリなんです。

便利な物で溢れる世の中で、土や植物に触れ、四季折々の変化を感じる事が出来る自然豊かな阿古谷の地は、何事にも勝る生きた教材です。また、農業だけ



専修学校猪名川甲英高等学院

校長 大角 猛仁  
おおすみ たけひと

「農」を通じて  
生きる力を育む!!



阿古谷から元気をお届けしま〜す!

でなく地域の皆様にも支えて頂き、共に様々な行事を経験することで、昨今薄れ行く地域の方々との関わりの素晴らしさを再認識出来たのも、この阿古谷地域があつてこそ。

この素敵な環境で、高校生活三年間を過ごし、本校から少しでも猪名川町に元気を発信し、町に貢献できる人材を輩出していきたく願っております。